

習熟度の低いクラスにおける Web 英語学習システムの活用について

西村 厚子

本学短期大学英語コースにおいて習熟度の低い学生の四技能必修クラス（主に Writing や Listening）を指導する上で、定期的な学習（予習・復習など）の習慣を身に付けないうまま短大に入学してくる学生が年々増えている。語学学習に日々の積み重ねが重要なのは言うまでもないが、授業で新しく学んだ単語を単語帳に記録して覚え、音声教材を何度も聞いて聴解練習をするなど、地道な学習を毎日続ける習慣をこれまで全く持たずにいた学生たちにとって、急に身につけることは容易ではない。単位を落として危機感を持つ学生も中にはいるが、それでも尚、勉強のための時間管理ができない学生も見られ、そのような学生たちなどのように地道な学習を継続する習慣を身に付けさせるか頭を悩ませてきた。他の教員からも同じ問題を耳にすることが年々増えている。一つの解として、昨年度から Listening の授業で Web 英語学習システム（e-learning）を取り入れ、その有効性を検証するため、今年度前期に学習者アンケートを行い、習熟度の低い学習者が語学学習において規則正しい学習習慣を身につける上で e-learning のもたらす効果を調べてみた。

2014 年度前期の Listening I（英語コース専門科目・1 年生必修）の履修者は 28 名（全 56 名中の下位者半数）で、入学時のクラス分けテスト（TOEIC Bridge）で 116 点～ 80 点を取得した新入生に加えて再履修者が 2 名含まれる。習熟度が高い方のクラスの学生のスコアは 152 点～ 118 点である。つまり最高点が 152 点、最低点が 80 点というように、学生の学力に大きな幅があり、152 点の学生と同じ指導方法・学習方法を 80 点の学生に適用しても最大の学習効果は期待できない。入学時に TOEIC Bridge のスコアが 80 点台の学生は、2011 年と 2012 年に 0 名、2013 年度に 1 名、2014 年度に 3 名というように年々増加の傾向にある。

自律的な学習習慣に乏しいこれらの学力下位者を日々の学習に取り組み易くするため、担当授業（Listening I・II）において、『Listening Lounge』（成美堂）というテキストを取り入れた。このテキストは各履修者がパソコン、携帯、スマートフォンを使用して授業外学習を行える Web 英語学習システム「LINGUAPORTA: リンガポルタ」(e-learning) と連動している。学習の流れとしては、週 1 回 CALL 教室にてテキストを用いた一斉授業を行い、一課分を指導し、授業で学んだ学習事項（一課分）を翌週までに各学習者がインターネット上で復習する。リンガポルタの各課は 4 つのセクション（1. Vocabulary and Expression, 2. Grammar, 3. Listening Skills, 4. Listening）で構成されており、文法事項についての空所

補充と語順整序、語彙の記述、空所補充やディクテーションの聴解演習などを行う。

教員は各学習者の進捗状況を随時 Web 上で確認できるので、学習を円滑に進められない履修者がいれば即座に対応できる。また、教室や自宅でなくても、通学途中や空き時間を利用して場所や時間を選ばずに学習することができ、一課分（授業 1 回分）の学習を 30 分から 1 時間程度で無理なく進められる。また、各学習者の習熟度と学習状態に合わせて問題が提示され、学習の負荷が自動調整されるため、一人一人の学力と学習ペースに合わせて無理と無駄が最小限に軽減される。昨年度は、他の授業をドロップアウトした学生も含め、履修者全員が前期・後期合わせて 24 課分（合計 903 点）のオンライン練習問題を全て合格・修了することができた。上記のような成果が得られ、履修者から「リングポルタを使うと楽しく、学習を進めやすい」という感想が聞かれたため、今年度も使用を継続し、前期アンケート調査によってその有用性の検証を試みた。

アンケートには当該科目履修者 28 名中、履修放棄者 4 名を除く 24 名が回答した。回答者の大半（83%：20 名）が「リングポルタを利用することによって、普段よりも定期的に学習することができた／少しできた」「授業で習ったことを自分で復習（あるいは予習）をする際、教科書だけを使って行うよりも、リングポルタを利用する方が取り組み易い（あるいは効率が良い）」と答えており、e-learning が教室外の学習を促し、規則的な学習習慣を補強する効果があることを示している。その理由（複数回答可）として、「教科書を使って復習するよりも楽だから」という回答が最も多く（7 名）、「自分で単語や文法事項を書き出す手間が省けるから」を選んだ者も 5 名いることから、「面倒臭い」という学習への抵抗感を e-learning が軽減することが推察される。また、「やり易いから」（6 名）、「スマホでできるから」（4 名）、「どこでもできるから」（4 名）といった利便性や手軽さも学習への敷居を低くしている。その他、「教科書での復習の仕方がよくわからないから」を選んだ学生が 5 名いることから、自習経験の少ない学生にとって、定められた学習過程のルールに乗って自動的に効率良く反復練習のできるオンライン学習システムは、学習習慣を身につけるための導入ツールにもなり得るだろう。自由回答として「ポイントでまとまっていて、リングポルタの方が覚えられるから」「的確に何回も繰り返しができるから」という意見も見られた。

「リングポルタにはスマートフォン（及び携帯電話）と PC（パソコン）のどちらを多く使いましたか。」という質問には、「PC のみ」（10 名）「PC が多い」（8 名）が合わせて 75% を占め、「スマートフォンが多い」と答えた学生が僅か 2 名なのは意外であった。「（スマートフォンと PC の）両方（同じくらい）」が 4 名の一方で、「スマートフォンのみ」が 0 名だったのは、後述する機能上の問題が関係すると思われる。リングポルタの一部にスマートフォンで回答できない練習問題が含まれているという点が改善すれば、スマートフォンでの利用率が増加する可能性が高い。

回答者の 79%（19 名）が「リングポルタに取り組むことによって、以前よりも英語の力がついた／少しついた」と感じており、多くが学習の成果を実感していることが窺える。そ

の結果、75% (18名) が「今後もリングポルタでの学習を続けたいと思う／少し思う」と回答し、持続的な学習に繋がる可能性を示唆している。

今回は Listening の授業で Web 自習システムを使用した。このようなツールが（特に習熟度の低い学生たちの）学習習慣作りに役立つのであれば、他の授業にも応用できるのではないかと考え、「他の授業においても、リングポルタのような e-learning システムを利用することによって、現在よりも学習に取り組み易くなると思いますか。」と尋ねたところ、71% (17名) が「思う」「少し思う」と回答した。e-learning を利用したい授業の具体例としては、「TOEIC 演習」という回答が最も多い (9名)。幸い TOEIC ベースの e-learning 教材は現在多く開発されているので、授業に取り入れられる可能性は高い。次に希望者が多いのは Writing (8名) である。小論文作成など、自由度の高い学習活動への応用は難しいが、リングポルタに含まれるような「語順整序」の問題で短文作成の反復練習を行う際には効果的であろう。また、Listening (6名)、Reading (5名) というように、四技能をトレーニングするために利用したいと考える者が多く見られたが、四技能の中で唯一、Oral English を選んだ回答者は 0名であることから、Speaking については PC でなく生身の人間同士で直接練習したいという思いが推測できる。その他、「観光英語」「Business English」が各 3名、「通訳法」2名、「英文法」「英語音声学」「翻訳法」「英語 I」が各 1名、「英語 II」が 0名という結果であった。

「リングポルタでの学習について良いと思う点（あるいは改善すべきだと思う点）があれば、自由に記述して下さい。」という欄については、「間違ったところが何度も出てくるので、きちんと覚えることができ、とてもよい」という肯定的な感想が 1名、「聴き取り問題もスマートフォンでできるようにしてほしい」という要望が 3名、「読み込みがうまくいかなかったり、正解を入力しても不正解になったり、動かなくなったり固まったり、学習済みの箇所が翌日になると未学習と表示されたり、ログインできないことがある」など、機能上の不具合が原因で学習意欲がそがれる、という不満が 6名であった。この自由記述欄以外は、全ての項目において肯定的な意見が 7～8割を占めたが、一方で利便性や機能面についてまだ改善の余地が残されるということであろう。機能制限について出版社（成美堂）に確認したところ、「現在 iPhone を含めたスマートフォンでは並び替え問題は学習できない。聞き取りの問題については、空所が複数の問題には対応していないが、空所が一か所のみはスマートフォンでも学習可能。Google Chrome、Firefox など、Internet Explorer 以外のブラウザでは、並び替え問題は学習できない。」との回答が得られた。

昨年度の当該科目履修者は、履修放棄者を除く全員がリングポルタの全過程を修了した結果、前期平均点は中間試験 87 点、期末試験 78 点、後期平均点は中間試験 77 点、期末試験 81 点という好成績を収め、前年度に不合格だった再履修者を含めた全員が無事に単位を取得することができた。今年度（前期のみ）に関しては、残念ながらリングポルタの学習（12 課分）達成度が 7 割前後に留まった履修者が 24 名中 2 名おり、昨年度と同じ試験を行った

結果、前期については平均点が7.5ポイント（前後期平均）下がった（中間試験76点、期末試験74点）。最終評価についても、昨年度は6割以上がS/Aを取得したのに対し、今年度は33%に留まっている。このように年度によって達成度には差があるが、入学時のクラス分け試験（TOEIC Bridge）で80点台だった学生も含め、授業内容について行けずに途中でドロップアウトする履修者は一人もおらず、全員が何とか合格することができた。

これまで習熟度の低い必修クラスでは、最後まで学習習慣を身に付けられない学生が単位を落とすケースが見られたが、e-learningというツールを有効利用することによって、このような学生たちをうまく学習活動の軌道に乗せるきっかけが作れるのではないだろうか。今年度、入学時のTOEIC Bridgeで最低点（80点）だったある学生は、授業やWebでの復習に熱心に取り組んだ結果、A評価を取得することができた。このような事例が今後増えるよう、デジタルツールと対面での指導を組み合わせ、クラスや学生の習熟度と特性に合ったバランスを模索していくつもりである。

一方で、Web英語学習はあくまでも補強のツールであり、効果には限界があるとも言われている。例えば「21世紀型能力」の中核と考えられている思考力（問題の解決や発見、アイデアの生成に関わる問題解決・発見力・創造力、その過程で発揮され続ける論理的・批判的思考力、自分の問題の解き方や学び方を振り返るメタ認知、そこから次に学ぶべきことを探す適応的学習力等）（勝野：2013, p.27）をe-learningの単純な反復学習で強化することは難しい。教育界のIT化を積極的に推し進めてきた韓国では、2011年に子供の読書量が過去最低を記録したことなどを受けて、現在ICT教育推進戦略の方向性が全面的に再検討されている。（NHK：2014）

また、アンケート結果にも見られたように、操作トラブルで作業が頻繁に中断すると学習者がフラストレーションを募らせる原因となり、学習意欲がそがれる場合もある。効果的に使用するには担当者がツールを熟知した上で、科目によって使い分けや工夫・改善が必要であろう。この場合、語学担当教員はデジタルツールの専門家ではないので、教材開発業者や学校全体が連携したテクニカルサポートが不可欠である。

上記のような点に留意して適切に利用すれば、語学学習のあり方が一斉教育から個別対応教育に移行していく上で、また、学習習慣が定着していない学生たちにとって、e-learningが有効な補強ツールになり得るのではないだろうか。

<参考文献>

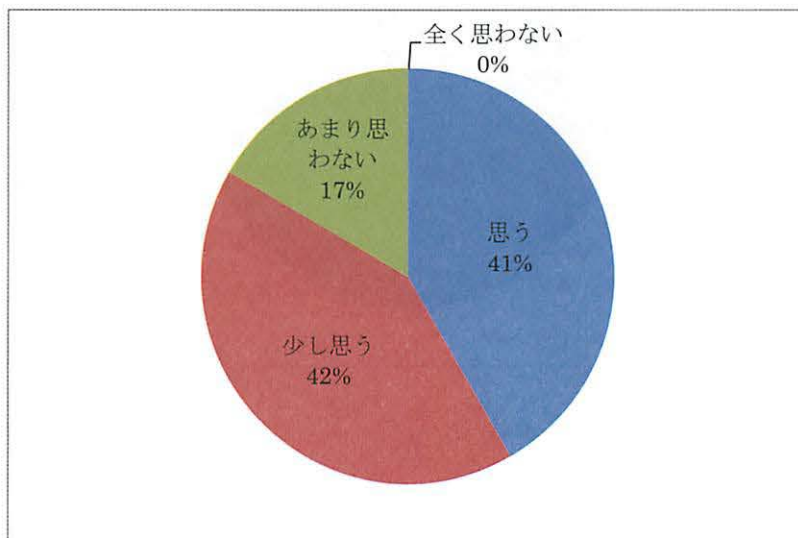
勝野頼彦（2013）「教育課程の編成に関する基礎的研究報告書5：社会の変化に対応する資質や能力を育成する教育課程編成の基本原則（平成24年度プロジェクト研究調査研究報告書）」国立教育政策研究所HP（<http://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/Houkokusho-5.pdf>）

NHK（2014）「学びを変える？～デジタル授業革命」（クローズアップ現代9月8日）

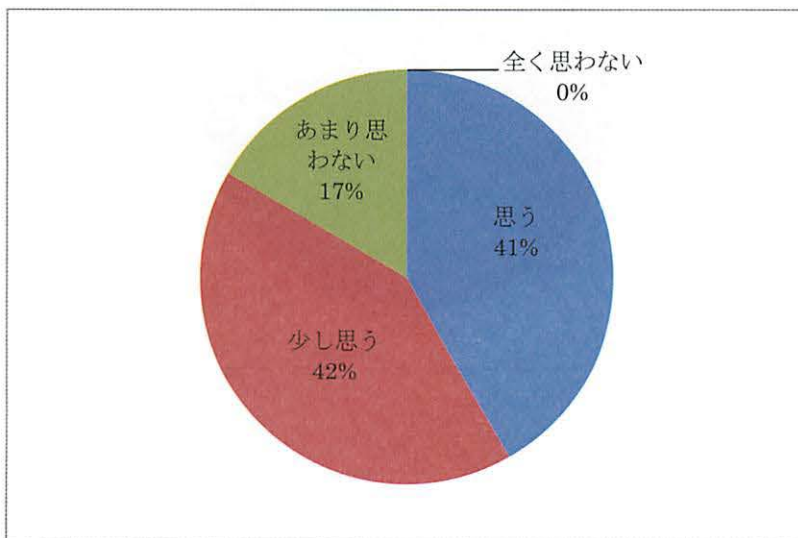
http://www.nhk.or.jp/gendai/kiroku/detail02_3547_all.html

<アンケート集計結果>

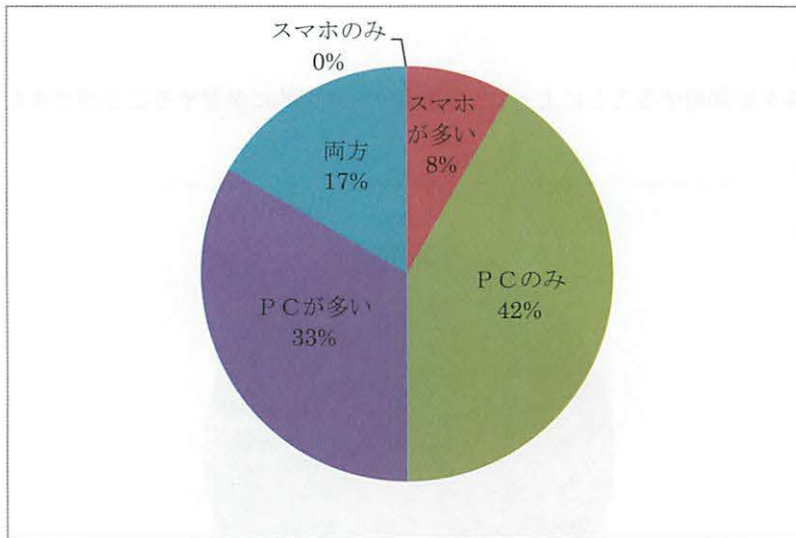
リングポルタを利用することによって、普段よりも規則的に学習することができたと思えますか。



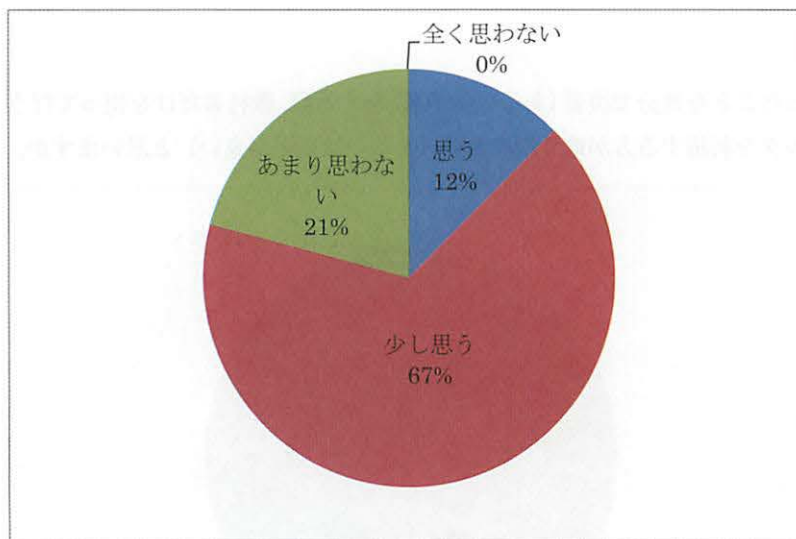
授業で習ったことを自分で復習(あるいは予習)をする際、教科書だけを使って行うよりも、リングポルタを利用する方が取り組み易い(あるいは効率が良い)と思えますか。



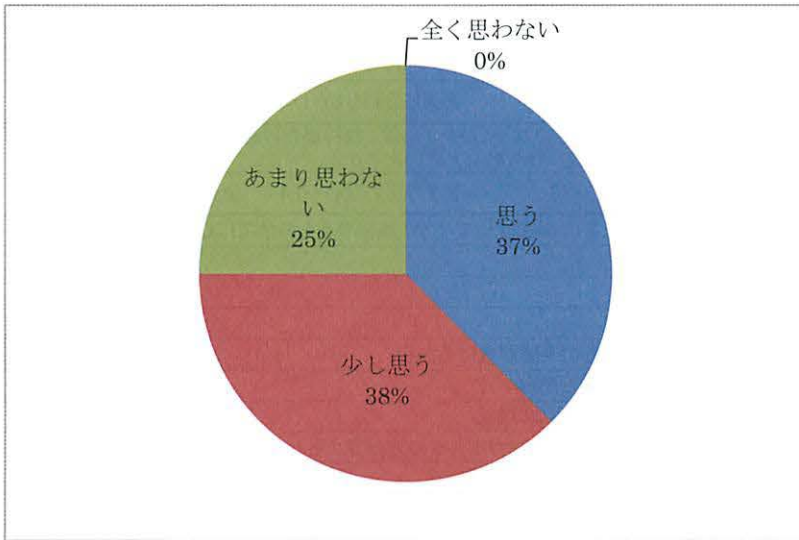
リングポルタにはスマートフォン（及び携帯電話）とPCのどちらを多く使いましたか。



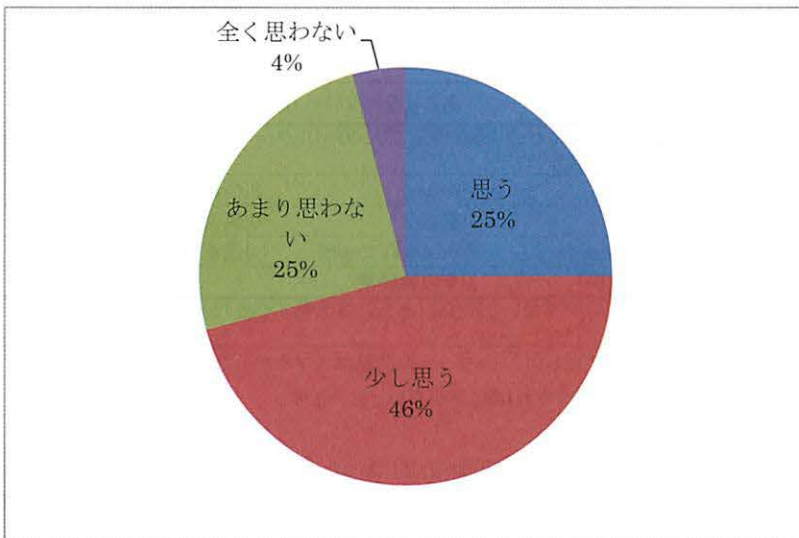
リングポルタに取り組むことによって、以前よりも英語の力がついたと思いますか。



今後もリングポルタでの学習を続けたいと思いますか。



他の授業においてもリングポルタのような e-learning システムを利用することによって、
現在よりも学習に取り組み易くなると思いますか。



リングポルタでの英語学習についてのアンケート集計結果

平成26年7月31日実施
対象者: Listening I 回答者24名

1. リングポルタを利用することによって、普段よりも規則的に学習することができたと思いますか。				
思う・・・10	少し思う・・・10	あまり思わない・・・4	全く思わない・・・0	
2. 授業で習ったことを自分で復習(あるいは予習)をする際、教科書だけを使って行うよりも、リングポルタを利用する方が取り組み易い(あるいは効率が良い)と思いますか。				
思う・・・10	少し思う・・・10	あまり思わない・・・4	全く思わない・・・0	
3. 2で「思う」「少し思う」を選んだ方の理由は何ですか。該当するもの全てに○をつけて下さい。				
①スマホでできるから				4
②どこでもできるから				4
③やり易いから				6
④自分で単語や文法事項を書き出す手間が省けるから				5
⑤教科書を使って復習するよりも楽だから				7
⑥教科書での復習の仕方がよくわからないから				5
その他	・ポイントでまとまっていて、リングポルタの方が覚えられるから ・的確に何回も繰り返しができるから			
4. リングポルタにはスマートフォン(及び携帯電話)とPC(パソコン)のどちらを多く使いましたか。				
スマホのみ				0
スマホが多い				2
PCのみ				10
PCが多い				8
両方				4
5. リングポルタに取り組むことによって、以前よりも英語の力がついたと思いますか。				
思う・・・3	少し思う・・・16	あまり思わない・・・5	全く思わない・・・0	
6. 今後もリングポルタでの学習を続けたいと思いますか。				
思う・・・9	少し思う・・・9	あまり思わない・・・6	全く思わない・・・0	
7. 他の授業においても、リングポルタのようなe-learningシステムを利用することによって、現在よりも学習に取り組む易くなると思いますか。				
思う・・・6	少し思う・・・11	あまり思わない・・・6	全く思わない・・・1	
8. 7で「思う」「少し思う」を選んだ方は、どのような授業でリングポルタ(e-learning)を利用してみたいですか。該当するもの全てに○をつけて下さい。				
Listening	6 Reading	5 Writing	8 Oral English	0
TOEIC演習	9 英語 I	1 英語 II	0 英文法	1
英語音声学	1 News English	0 Business English	3 通訳法	2
翻訳法	1 観光英語	3 その他授業()		
その他、リングポルタでの学習について良いと思う点(あるいは改善すべきだと思う点)があれば、自由に記述して下さい。				
<ul style="list-style-type: none"> ・全てスマホからできるようになってほしい。(Listeningの問題はスマホからできないので) ・リスニング問題も、スマートフォンでできれば効率が良いと思います。 ・エラーが多くて困る ・家のPCを使ったときに、どうしてもできない問題がたまにあったりするところ。 ・読み込みがうまくいかない時がよくある。家でも学校のPCでも答えは合っているのに何度やっても正確にならないこともよくあった。とてもいらした。 ・時々、動かなくなったり固まったりする。その時は、ちゃんと学習したことになっているが、翌日になると何も学習されていないと表示されるときがある。 ・ログインできなかったり、何度やっても○にならない時、困る。 ・正解を打ち込んでも、不正解になる不具合がよくあるので、時々不便を感じます。 ・PCでしか出来ない問題があることは少し不便に思いますが、間違ったところが何度も出てくるので、きちんと覚えることができ、とてもよいです。 				